

■**豊田喜一郎** 技術者、実業家。父佐吉の**大志を継いで{トヨタ自動車}**を創立、基礎を築くも、大戦に翻弄され、没した。
とよだきいちょう
日清戦争始・1894＝ 静岡県鷺津町山口(湖西市)で、**豊田佐吉の長男に生まれる。**
父が東京に出奔したのに愛想をつかした母も家出、祖父母に育てられた後、

八幡製鉄始・1897＝ 3歳：父が戻って再婚、

父の工場の片隅で機械いじりをして過ごし、

教科書疑獄・1902＝ 8歳：名古屋市高岳小学校に入学、
日比谷公園・1903＝ **9歳**： 名古屋師範付属小学校に転校し、
日露戦争終・1905＝11歳：

アヲヲ創刊・ 1908＝14歳：卒業。名古屋の明倫中学校に入学し、

明治天皇没・1912＝**18歳**：
大正政変・・1913＝19歳：卒業。仙台の第二高等学校に入学し、

ロシア革命・1917＝23歳：卒業。**東京帝国大学工学部機械工学科に進み、**

大暴落・・・1920＝26歳： **卒業。**父が設立した**豊田紡織**に入社、欧米視察に出発し、
原敬首相暗殺1921＝**27歳**： **帰国。**
水平社結成・1922＝28歳：京都の飯田二十子と結婚。
会社が急成長する中、自動織機の研究開発で、父譲りの発明の才を発揮し、

治安維持法・1925＝31歳： **完成させ、**
円本時代始・1926＝32歳： **企業化のために設立された豊田自動織機の常務取締役となる。**

世界恐慌・・1929＝35歳：***自動織機の特許権を100万円でイギリスの会社に譲渡、その代金をもとに、プラット社と契約締結し、神戸で三輪自動車の研究開始、**
海軍軍縮条約1930＝**36歳**：***父佐吉が死去して、名実ともに独立し、**
満州事変・・1931＝37歳：
国際連盟脱退1933＝39歳： **アメリカから最新モデルの自動車を購入し、完全に分解して本格的な自動車の研究開発に着手した。**
帝人疑獄事件1934＝40歳： **エンジンを開発、**
芥川直木賞始1935＝41歳： **試作乗用車を完成し、トラック量産開始。**
二二六事件・1936＝42歳： **軍主導で許可制による自動車の国産化の法律が施行され、**
日中戦争始・1937＝43歳： **日産とともに許可を受け、亡父の妹婿豊田利三郎を社長に、トヨタ自動車工業を創立、副社長に就任。**
健保+総動員 1938＝44歳： **愛知県挙母に工場を完成、自動織機製造で培った“ジャスト・イン・タイム方式”の効率的な生産を開始、**
第二次大戦始1939＝**45歳**：
大政翼賛会・1940＝46歳：利三郎を社長に、豊田製鋼を創立。
日米開戦・・1941＝47歳：***トヨタ自動車工業社長となる。その間、北支自動車工業社長となった。**

創価学会検挙1943＝49歳：東海飛行機社長。
戦時体制下、軍用自動車(トラック)の製造で発展するものの、乗用車の国産化は持ち越され、
敗戦・・・・1945＝51歳：***トヨタ車体社長、自動車協議会会長に就くも、戦後の不況に太刀打ちできず、**

新憲法施行・1947＝53歳：経団連理事。
極東裁判決・1948＝**54歳**：日本自動車会議所副会長。
三大事件・・1949＝55歳：民自党政務調査会参与ともなった。**乗用車生産制限が解除されたが、大規模な労働争議が発生、**
朝鮮戦争始・1950＝56歳：自動車技術会会長。**責任をとって辞任。直後<朝鮮戦争>が始って会社は息を吹き返し、**
独立回復・・1951＝57歳：
マーデー事件・ 1952＝58歳：**社長復帰を要請されたが、直後に、脳溢血で没した。**